

真弓山ハイキングコース総合案内板

～ Welcome to mayumi ようこそ真弓町へ ～

常陸太田市

真弓町

真弓町は、常陸太田市の南東部に位置し、真弓山麓の県道亀作石名坂線を中心にして、両側に約220戸の住宅地が広がる地域です。

町内には歴史적인見どころが多数あるほか、自然環境においては眺望が素晴らしく、本州の南限・北限の植物が混在して生育している学術的にも貴重なところではあります。

ハイキングコースは、真弓神社の参道がコースとなり、真弓神社・爺杉・膝掛け石などの名所があるので、歴史と自然が体験できるコースとなっています。

高鈴山
(標高623m)

陣ヶ峰
(標高約300m)

真弓神社
(標高265m)

裏参道

表参道

反射板

願掛けのしめ縄

神の枝を拝して願いをかけると、願ひ事が叶うというしめ縄。また、女の人には瀬戸物を割らなくともいわれている。

真弓山の白い石

真弓山一帯から産出する白い石(大理石)は、寒水石ともよばれ、建築材として国会議事堂にも使用されている。また、この石には源義家や天狗にまつわる伝説も残る。

膝掛け石

源義家が膝をかけて弓を射たとされる石。ここから放たれた矢は日立市の留町まで飛び、飛んでいく矢の様子から、茂宮と留の地名になったとされている。

真弓神社

坂上田村麿が大同2年(807)に創建し、源義家が弓を奉納したとの伝説が残る神社。陣ヶ峰に鎮座し、常陸五山の一つとして山岳信仰の聖地とされている。

爺杉

神社の北側斜面の中腹にある杉の巨木で、茨城県内でも有数の大きさを誇る。県の天然記念物に指定されており、幹周りは10.4m。

見晴らし台

多賀山地南部に位置する見晴らし台からの眺望は、太平洋を望み大洗、鹿島の工業地帯まで一望できる。春にはヤマザクラ、秋には紅葉が楽しめる。

三の鳥居

高参道鳥居

一対の猿

苔むす樹木

苔むす樹木

シダの群生

反射板

不動尊

トラギョウ
サンショウクウ

井戸天

御手洗池

神門

一の鳥居

300m

真弓町会

協力：茨城県立太田第一高等学校 写真部

徳川斉昭が弘道館記碑を作る際、真弓山の大理石を使用することにしたが、石の搬出時に大嵐となり、里を恐れ、道も散りなかつたので、斉昭は、二宮の邸宅を白狐に祟られて折斷し、無事搬出ができたといわれている。

県道亀作石名坂線

現在地
集会所

国道
156